

平成29年度 島根県技術士会フォトレポート



平成29年5月20日（土）、ホテルニューウェルシティ（出雲市）において、平成29年度島根県技術士会総会を開催しました。

今回は、ホテル宍道湖の廃業に伴い、初めての出雲市開催となったにもかかわらず、全会員327名のうち、147名の出席がありました。



今年度は、21名の新人が入会し、技術士としての抱負など、自己紹介を行いました。



交流部会、広報部会、研究部会、防災部会、青年部会、ホームページ担当、事務局から、H28年度の事業報告とH29年度の事業計画について報告がありました。



会計担当の嘉藤技術士から、H28年度の決算報告とH29年度の予算案について報告がありました。



渡部名誉理事から、「日本技術士会の最近の動き」と題して、試験制度の変更に関する情報や、今年度、山口県で開催予定の日本技術士会全国大会の情報提供がありました。



初めての出雲市開催を記念して、「出雲平野と斐伊川・神戸川」と題して、当会員の落合久栄技術士から、特別講演をして頂きました。



落合技術士の講演は、斐伊川と神戸川の治水対策3大事業に関する経緯や裏話など、実体験に基づく大変興味深い内容でした。



総会後の懇親会は、総勢105人もの出席により盛会となりました。

出雲の地酒「天穂」で乾杯後は、職場、職位、職種、年齢などを超えて、活発な情報交換がされました。

次回も出雲市開催となることを予感させて、閉会となりました。

